

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第19号

令和5年10月7日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「個人懇談会開始」

～健やかな成長を家庭と学校で見守るために～

校長 森 勝義

本日10月7日から4週にわたり、個人懇談会が実施されます。ご希望のあったご家庭には担任より、日程の連絡が届いているはずです。お子様の日本語学校や現地校での学習や、生活の様子、ご家庭での様子などを共通理解し、担任と保護者が連携し、園児・児童・生徒個々について話し合いをし、健やかな成長を同歩調で進めるための懇談会です。予定時間の少し前にはご準備のほど、よろしくお願いいたします。

また、最終週の10月28日は第一回漢字検定(申込者のみ)をカフェテリアにて約50名の児童生徒が受検します。授業参観やバザーはコロナ対策のため、残念ながら今年も中止となりました。今後の動向で変化がありましたら、保護者の皆様にはお知らせしていきます。

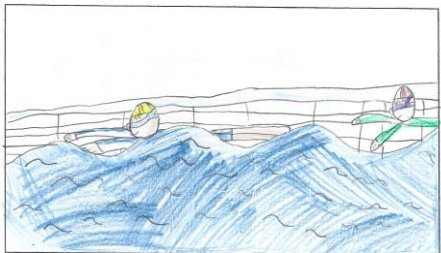
さて、ラグビーワールドカップフランス大会も佳境に入ってきました。ジャパンも予選リーグ突破のために、いよいよ8日、強豪アルゼンチンと対戦します。「ワンチーム」となって突破し、決勝トーナメントへ駒を進めて欲しいです。前回の2019日本開催では見事予選全勝し、決勝トーナメントに進みました。日本全国12会場でのおもてなしや歓迎イベントで、日本人の態度やさしさを目の当たりにした選手はもちろん、外国の方たちが日本のこと、日本人のことを絶賛していたことを思い出します。

私自身、レフェリーをやっていた時、毎年夏合宿に招待してくれたチームがありました。日本選手権7連覇した釜石にある「新日鉄釜石ラグビーチーム」です。夜になるとチームスタッフに連れられて釜石漁港の居酒屋に行き、海の幸を食しながら、ラグビー談議に華を咲かせました。

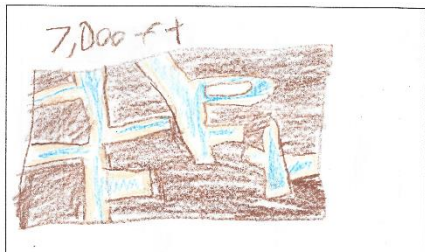
しかし、東日本大震災でその店も、女将さんも帰らぬ人となりました。私自身、当時の映像でその商店街が津波に流されていくのを観た時、恐怖で足が震え、嗚咽しました。

2019年はその釜石の町でワールドカップの試合が行われました。釜石鵜住居復興スタジアムには追悼碑があり、「あなたも逃げて 東日本大震災 大津波」と書いてあります。スタジアムでの試合前、女子高生の洞口留伊さんが行った「キックオフ宣言」は聞く人の心を揺さぶりました。彼女の言葉に、震災を知る誰もが共感し、涙しました。「私はラグビーが好きだ」で始まった宣言は、こんなことを言っていました。「小3の時に被災し自宅は津波で流され、小学校、中学校はともに全壊。周囲一面がれきの山で3階建て校舎の屋上に車が乗りあげた光景は忘れられない。筆記用具もランドセルも流されてしまった。1列に並んで二人で分けたおせんべい、コップ1杯の水、数日経っておにぎりをひとつ食べたときに生きている喜びをじんわりと感じた。日本中、世界中の支援のおかげでちゃんと学校生活を送ることができた。復興スタジアムは小中学校の跡地に建てられた」そして次の言葉で締めくくっています。「世界中の皆さんからいただいた支援、ありがとうございます。この日を迎えられたことを祝い、そして感謝したい。今私たちがしなければならないことは釜石のために支援をしてくれた日本中のそして世界中の方々に感謝の想いを伝えることだと思う。私たちは震災から立ち上がり、前へ進んでいきます。このスタジアムはたくさんの感謝を乗せて今日、未来へ出航する。」と。

小学2年2組夏休みの絵日記



櫻井澄空(そら)くんの絵日記:ぼくは、メキシコの海へ行きました。名前は、カンクン。海の水は、しおが入っていて、口に入るとしょっぱいです。プールにも入りました。ごはんは、メキシカンでは、チップス、サラダ、タコス。イタリアンでは、ピザ、パン。アジアンで、すしをたべました。どれも、おいしかったです。貝がらとすなはまを、ずっとおぼえておきたいです。



深津奏人(かなと)くんの絵日記:ぼくは、夏休みに日本の学校へかよいました。休みじかんにともだちと、かわりおにや、けしごむバトルをやりました。さん数は、ひっさんは日本ご学校でもうなっていてわかっていたので、たのしかったです。体いくは、プールでうかべなかったのに、れんしゅうをしてうかべるようになりました。プールがおもしろかったです。さいごの日に、みんなとハグをしました。いっしょにあそんでくれてありがとうございました。



町田大翔(やまと)くんの絵日記:夏休みに、アーチズこくりつこうえんに行ってきました。かぞくみんなで1じかんぐらいあるくと、大きないわのアーチが見えてきました。たくさんあるくのは、たいへんだったけれど、きれいなけしきが見られてよかったです。



米山和希(かずき)くんの絵日記:前に、グランドキャニオンに行きました。とてもふかくて、びっくりしました。むかし、川の水がけずったからです。でも、なぜ日本にもむかしから川があるのに、グランドキャニオンのような大きなたにができないんだろう、と思いました。



ヒゲ森の言葉の森・探検



ぜんと ようよう

前途洋洋

今後の展開が明るく開け、希望に満ちあふれている
さま。「前途」は将来「洋洋」は水が満ちている様子で前が広々と開けて

この道より我を生かす道なし
この道を歩く。

武者小路実篤(むしやのこうじさねあつ)
1885年〜1976年。小説家・劇作家

自分が選んだ道だからこそ、自分を生かすことができる。